

---

# 特定非営利活動法人 わおん 令和元年(2019年)度 事業報告書

---

こどもたちがもっと元気に輝く地域に！

NPO法人 わおん♪



〒399-0704 長野県塩尻市広丘郷原685

TEL : 0263-87-3005 FAX:0263-87-4024

E-mail : waon@npowaon.com

<http://npowaon.com>

わおん 松本平

検索



# 2019年度事業の成果・総括

今年度は、継続事業を中心に行った。新しい事業としては、東京の学童のキャンプ受け入れがあった。ハイジの森での森カフェイベントは、希望者からの提案の事業を中心に行った。なかなか収益にはつながらないが、今後の展開への第一歩となった。

活動の拠点となっている柏茂会館の閉館が決まり、今後の事業展開を見直すこととなった。いろいろな状況を想定しながら、実施体制を充実させていく必要があると感じた。

## ♪事業の実施に関する事項

### — 特定非営利活動に係る事業 —

#### 1：環境と子どもに関わる体験事業

##### 1-1 わおん♪自然探検隊/主催事業

(子どもゆめ基金助成事業/2010年度より継続事業)

日程：

4月13日	第1回	入隊式	参加者25人
5月11日-12日	第2回	春のキャンプ	参加者21人
6月8日	第3回	外あそびの達人になろう①	参加者25人
7月13日	第4回	外あそびの達人になろう②	参加者23人
8月2-4日	第5回	夏のキャンプ	参加者22人
9月7日	第6回	ひみつ基地であそぼう	参加者20人
11月9日-10日	第7回	秋のキャンプ	参加者19人
12月21日	第8回	里山のクリスマス会	参加者21+オープン参加10人
1月18日	第9回	冬の森であそぼう	参加者22人

10周年記念イベントの開催 10月19日 参加者26名

会場：柏茂会館、上小曾部転作促進研修センター

参加者：小学校3年生～中学校3年生 延べ198人（↑52人）※探検隊メンバーのみ

事業収益：1,575,674円（↑317,674円）

(子どもゆめ基金660,674円、参加費収入915,000円)

成果：

2010年度から活動をはじめ、10年目となった。今年は10年目を記念して、記念イベントを実施した。高校生や大学生になった子たちが参加してくれた。また、継続して信州大学の学生にサポーターとして継続して関わってもらっており、スタッフの年齢層に幅があり充実していた。

課題：

柏茂会館の利用が今年度で終了することとなった。今後の展開が不透明なので、状況に臨機応変に対応していく必要がある。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



## 1-2 ハイジの森探検隊

以前、会員からの実施希望の相談があったが、企画検討中のみ変化なし

## 1-3 森カフェプロジェクト（ハイジの森）/主催事業

（元気づくり支援金2016年度～2018年度・信州環境カレッジ2019年度

／2015年度より本格実施事業）

### ◆通常森カフェ

4月～3月 延べ47回（↓10回）（天候不順により中止12回）

参加者 0歳～保護者まで 延べ510人（↑2人）

※ぷち料理の日を森カフェにあわせて設定

2019年11月23日 25名、12月14日 0名、2020年2月29日 中止

### ◆森カフェイベント：

5月26日 MOCCAコンサート 参加者34名

6月23日 森林セラピー体験 参加者5名

7月6日 ハーブの花束づくり 参加者5名

8月17日 ハーブの花束づくり →中止

10月5日 居眠りコンサート →中止

10月12日 森で楽しむ簡単料理 →中止

11月16日 森林セラピー体験 参加者9名

3月21日 たき火入門&べっこう飴づくり 参加者9名

参加者合計 62人（↓57人）

### ◆森カフェプロジェクトの名称を商標登録するため、手続きを実施した。

現在、手続き中

会場：ハイジの森（イベントは、上小曾部転作促進研修センターも利用）

事業費：

#### ◆通常森カフェ

参加費：160,900円（↓9,150円）

#### ◆森カフェイベント

参加費：63,400円（↓47,300円）（↑1回）

助成金：信州環境カレッジ

成果：

森カフェ本格開催から丸5年となった。通常の森カフェは、森カフェコーディネーターの方に開催をお任せし、他の事業と重なっても森カフェが開催できる体制となっている。天候に左右されるものの、開催回数、参加者ともに安定してきている。新型コロナウイルスの対策として、3月は事前予約・食器貸し出しなしなどの対応をしながら実施し、多くの方の参加があった。

森カフェイベントは、希望者からの提案によって企画・実施を行った。他の事業と重なっても実施できる体制づくりの第一歩となった。

課題：

森カフェイベントの参加者が少なかった。チラシを年間一括で作成したが、都度作成したほうがPR効果が高いと感じた。天候不良や参加者数が集まらないことから、中止事業がいくつか出た。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



## 1-4 県外・市外の子どもたち向けのキャンプ実施

### ◆わおん♪キャンプの実施/主催事業

(2017年度より継続事業)

- 7月20日-21日 わおん♪ひみつ基地探検隊 川編  
参加者 14人 保護者1人
- 7月27日-28日 わおん♪ひみつ基地探検隊  
参加者 23人
- 9月14日-15日 わおん♪ひみつ基地探検隊  
参加者 8人
- 8月10日-11日 わおん♪ツリーハウスキャンプ  
参加者 20人
- 9月21日-22日 わおん♪ツリーハウスキャンプ  
参加者 19人 保護者1人
- 9月28日-19日 わおん♪ツリーハウスキャンプ  
参加者 17人

会場：柏茂会館、上小曾部転作促進研修センター  
事業収益：参加費 1,535,500円 (↓58,500円) (↓2回)  
参加者 101名 (↓16人)、保護者2人 (↓5人)

### ◆都市部からの学童の受け入れキャンプ/受託事業

8月19日-21日 参加者 21名  
事業収益：540,845円

成果：

継続して、松本市・塩尻市・岡谷市の後援をとり、学校にチラシを配布し、事業を実施した。キャンプの回数を8回から6回に減らして実施したが、収益はそれほど減らなかった。また、今年度初めて首都圏の学童の受け入れキャンプを行った。

課題：

キャンプを6回の開催と、学童受け入れキャンプについて、スタッフの確保が課題となった。少しゆとりのあるスタッフ配置にしていきたい。

## 1-5 塩嶺体験学習の家/受託事業：塩尻市教育委員会

(2011年度より継続事業)

内容：

- 5月18日 体験学習フェスティバル、オプション企画 33名 (↑8名)
- 5月19日 体験学習フェスティバル 約300人
- 6月9日、9月8日、10月27日、11月24日 こども未来塾リーダー研修の運営
- 2019年4月～2020年3月 塩嶺体験学習の家のブログの更新

会場：塩嶺体験学習の家

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



成果：

2011年度より継続して事業が実施できている。体験学習フェスティバルは定着してきた。多くの参加者に来てもらう事が出来ている。

課題：

2016年度からは予算が大きく減り、ニュースの発行と指導者養成講座を削り事業規模が縮小したまま事業を実施している。このまま事業が継続できればいいが、いずれ削られる可能性もある。

## 1-6 こどもしおじり／受託事業：塩尻市市民交流センター交流支援課

(2016年度より実施)

内容：

12年7日-8日 第4回こどもしおじり開催  
2019年3月～2019年12月 こども役員会議・実行委員会等の開催 全7回  
参加者 小学3年生から中学生 140人(↓22人)

成果：

30年度から、定員を150名と増やした。今回は、150名近くの申し込みがあったが、当日参加者は140名となった。専門家、コアスタッフ、当日スタッフなど、多くの協力者を得ることが出来、様々な主体との協働事業として成功することが出来た。コアスタッフとして関わってくれる人も増えた。

課題：

運営にかかわるスタッフを増やし、事前準備をきちんとすすめられるような体制づくりをしたい。また、マンネリ化しないように工夫しながらすすめていきたい。

## 1-7 出前イベント／受託

日程：

6月15日、7月6日-7日、8月24日-25日	ジュニアリーダー養成講座
6月9日	宗賀小PTA 内容：自然体感プログラム
6月20日	大野川小学校 内容：外あそびの達人講座
7月10日	並柳小学校 内容：自然体感プログラム
8月6日	松本市エコスクール 内容：自然体感プログラム
8月7日	河辺のピクニック イベントの企画・運営
8月9日	宗賀児童館 内容：自然体感プログラム
9月8日	昭和電工夏祭り大町 内容：昔あそび
9月18日	菅野小学校 内容：自然物を使った工作
10月4日	沢村児童センター 内容：ロープワーク、たき火で基地遊び
10月17日	広丘野村保育園 あそびの広場 内容：自然体感プログラム
10月23日	安曇小学校 内容：自然体感プログラム
10月28日	菅野小学校 内容：自然体感プログラム
1月7日	沢村児童センター 内容：昔あそび
3月23日	沢村児童センター 内容：昔あそび
3月24日	吉田児童館 →中止

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



3月26日 片丘児童館 →中止  
3月27日 沢村児童センター 内容：ロープワーク、たき火で基地遊び  
3月30日 宗賀児童館 →中止

事業収益：受託金額 414,522円（↑45,522円）

成果：

沢村児童センター（旧蟻ヶ崎児童館）からは、継続して依頼をいただいている。また、子ども会育成会のジュニアリーダー養成講座についても、継続して依頼をいただいている。塩尻市内の児童館からも、新型コロナウイルスの影響で中止になってしまったものもあるが、夏休みや春休みを中心に依頼が増えた。松本市の学校からの依頼も今年度は多かった。

イベントの企画・運営の依頼があり、サポーターと協力し実施することができた。

課題：

塩尻市の児童館の出前イベントの依頼が増えてきているので、継続してほしいしてもらえよう交流していきたい。また、その他からの出前イベントの受託をさらに増やせるよう、積極的に営業活動をし増やしていく必要がある。

## 2：体験事業に関わる普及交流事業

### 2-1 げんすけ祭り/主催事業

**（市民交流センターを活用した交流企画事業/2010年度より継続事業）**

日程：2020/2/11 10時～15時

会場：塩尻市市民交流センター（えんぱーく）3階

参加者：約450名

出展団体：23団体（↑7団体） 26ブース

子どもサポーター：5人（こども企画会議 2回実施）

市民交流センター交流企画事業として実施（2年目）

事業収益：69,500円（↑14,350円）

成果：

子どもたちが一から企画を考える子ども会議を2014年度から継続して実施することができた。メンバーは入れ替わってきているが、今年度は5名が関わってくれた。2月のイベントとして定着してきた。参加団体が7団体増え、会場も広く使うこととなった。

市民交流センター交流企画事業として採択され、会場代が減免されて実施できている。塩尻市立図書館や交流企画課とのコラボが実現している。

課題：

わおんとしての収益が伸び悩んでいる。売り上げを増やすし、集客を活用できるような体制づくりをしたい。わおん♪として、げんすけ祭りを継続して実施する必要があるのか、検討したい。来年度は第10回となるので、ファイナルにすることも含めて検討する。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



## 2-2 各種交流会（げんすけBar、lunch、お茶会）

実施なし

## 2-3 出張げんすけ+げんすけ縁日／コラボ企画・ブース出展

日程：

5月19日	体験学習フェスティバル	収益：9,700円
8月31日	森のフェスティバル	収益：21,450円
9月1日	ひらいで遺跡まつり	収益：14,150円
10月5日	木育フェスティバル	収益：6,250円
10月26日	ハッピーハロウィン	収益：0円
11月16日	しおじりまちづくりフェスティバル	収益：7,800円

ブースでの実施内容

クラフト（小鳥のキーホルダー、森のオブジェ、森の写真立て 500円）  
射的（100円）  
たき火関係（たき火ミニ講座、スモア100円）  
科学工作  
げんすけの出演  
クラフトグッズ、げんすけグッズの販売

事業収益（合計）：59,350円（↓16,050円）

内容：受託 0件（→）、自主的に参加 6件（↓1件）

成果：継続して参加しているイベントに参加した。

課題：げんすけの出演依頼がゼロだった。

## 2-4 全国森カフェプロジェクト推進チーム（出張森カフェ／コラボ企画）

日程：

4月25日～6月13日 信州花フェスタへブース出展（助成：高原環境財団）  
5月25日 かまばの森  
7月22日 ハイジの森（貸し切り）  
8月18日、9月23日 国営アルプスあづみの公園（3月8日→中止）  
11月23日 信州の地域循環共生圏づくりと協働取組（EPO中部）@飯山

成果：

継続して、国営アルプスあづみの公園で出張森カフェを2回実施した。また、新規として、松本市にあるかまばの森で1回、飯山市で1回、出張森カフェを実施した。また、ハイジの森での貸し切り森カフェも1回実施した。新規の出張森カフェが増えてきている。  
今年度は、信州花フェスタの開催があり、チームでブース出展をした。

課題：

出張森カフェの依頼をもっと増やしていけるよう、PRを実施していく。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



## 2-5 里山子育て・子育てセミナー・フォーラムの開催/主催事業

開催なし

## 2-6 関係ネットワークへの参加

### ◆信州外あそびネットワーク

- 6月18日 本部ネット会議
  - 1月20日 本部会議@小諸
  - 1月20日 外あそびネットワークの総会に参加
  - 2月27日 本部ネット会議
- ※外あそびネットワーク事務局として会計を担当

### ◆木育フェスティバル実行委員会

- 8月30日 森のフェスティバル
  - 10月5日 木育フェスティバル、円卓会議
- ※実施に向けて、実行委員会に参加

### ◆地域づくりネットワーク

- やまびこネットワークに加入
- 地域活性化センター賛助会員

### ◆松本地域子ども応援プラットフォーム

- 5月29日 運営委員会
- 8月28日 全体会議（進行担当）
- 2月25日 運営委員会

### ◆中信地区環境教育ネットワーク

- 7月1日 総会に参加
  - 10月3日 信州環境カレッジ交流会に参加
  - 12月2日 信州環境カレッジ実践交流会 調整・参加
- ※HP更新担当

### ◆NPO法人自然体験活動推進協議会

- 1月24日 指導者更新講習会 参加・更新
- 2月13日-14日 リスクマネージャー養成講習会に参加

## 3：体験事業に関わる指導者育成事業

### 3-1 森カフェコーディネーター養成講座/主催事業（2015年度より実施）

2019年度は実施できなかった。

### 3-2 サポーター向け勉強会

未実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に





## 4：地域の情報収集発信事業

### 4-1 メールマガジン発行

2019年4月～2020年3月 登録190人（↑80人）

### 4-2 活動の動画配信

依頼なし

### 4-3 げんすけがゆくの発行

未実施

## 5：地域の物産開発ならびに販売事業

### 5-1げんすけグッズ/FR

#### ◆塩尻市内の店舗での販売

モナミ美容室、温（ぬっく）、木曽地場産センター

#### ◆イベントでの販売

9月1日	ひらいで遺跡まつり	収益：400円
11月16日	しおじりまちづくりフェスティバル	収益：2,300円
2月11日	げんすけ祭り	収益：2,350円

事業収益：30,010円（↑6,233円） うちイベント 5,050円

### 5-2こどもたちの元気の源「ブランド」づくり/FR

未実施

## 6：地域課題解決のための企画運営事業

### 6-1 出前イベント（ワークショップ）

依頼がなかったため、未実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



# — NPO法人の運営 —

## 1：理事、事務局の対外的な活動

### ・講師

8月17日 林業センター 虫の観察講師（理事長 山田勇）

2月25日 あさひ環境のつどい（理事長 山田勇）

### ・委員会・会議出席

塩尻市社会教育委員会議（理事長 山田勇）

塩尻市青少年問題協議会（理事長 山田勇）

EP0中部協働コーディネーター（理事長 山田勇）

### ・その他

市民タイムス リレーコラム「のんびりあそぼう」掲載（理事長 山田勇）

## 2：法人内での活動

### ・会議

#### ◆総会

4月21日 通常総会

#### ◆理事会

10月26日 理事会 @えんぱーく

11月10日 理事会 @柏茂会館

### ・広報

パンフレットの配布、Twitter・Facebook・Instagramの更新

松本市へのブース出展、コラボ企画等を実施→未実施

月刊イクジィ、Kids Komachiに広告を掲載

### ・ファンドレイジング

げんすけグッズの販売のみ実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



## ・会員向けサービス

会員オリジナルげんすけカード（会員証）を発行  
わおん♪会員通信を3ヶ月に1回発行  
森カフェへの参加割引

## ・会員募集

森カフェをきっかけに会員が増えた  
イベント受付の際などPRしたり、積極的にお誘いするようにした

## ・管理（顧客・備品）

セールスフォースのプロボノを活用し取り組みを実施。  
会員管理を実施。  
イベント参加者、サポーター情報を管理できるように整備中。

## ・会計、税務

引き続き、会計王を活用。  
事務局は3ヶ月ごとにチェックした。  
講師謝礼、給与に関して、源泉徴収を実施している（2016年1月～）  
住民税は特別徴収を実施  
PAYPAYの決済を導入した（2019年8月～）

## ・労務事務（法人事務）

社会保険への加入している（2015年12月～）  
労災、雇用保険は入れない  
拠点となる事務所を検討する  
（もしくはクラウドサービスを活用して、情報共有しながら仕事をする）  
※G-suiteを導入した  
書類データ：Googleドライブ 写真データ：box  
遠隔会議：googleハンガアウト →実施  
日々の情報共有：Facebookグループ →実施  
顧客情報等；セールスフォース → 実施  
タスク管理：Evernote →実施

